

学校だより



市川市立平田小学校

いなほ
稲穂学校教育目標
夢をもち、たくましく生きる
子どもの育成

No.19

R5年12月19日

校長 蜂須賀 久幸



～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する 共に未来を創る～



子供の悪ふざけ？よくあること？それでよい？

修学旅行帰りのバスでDVDがセットされ、『クレヨンしんちゃん』が映し出されると歓声があがります。そして、お母さんに主人公がカンチョーする場面では大爆笑。

さて、少し前になりますが、“子供同士の「カンチョー」「ズボンおろし」を見て笑っている危険性”という見出しがネットニュースに登場しました。こんな子供の戯れに気づいたときにどのように対応するかで、当人や周囲の子供たちのその後の行動に大きく影響を及ぼしそうです。アニメでは笑いを誘う行為かもしれませんが、たとえ友達同士でも、それが遊びのつもりでも、やってはいけないことがあることをきちんと教えなくてはいけないと考えています。ちょっとした悪ふざけだし、昔からあることにそんなに目くじらを立てることではないと放置・容認してしまったが故に、間違った認識が標準化されてしまう恐れもあるからです。

以前からプライベートゾーンに関する指導が話題に上りますが、前述の行為もその延長線上にあります。周りの大人が見過ごさないことで、集団全体が「NO!」と言いやすくなったり注意し合ったりできる関係に変わっていく基盤が作られます。こうしたことを繰り返すことが、延いては性暴力やその被害を減らすことにつながるのかもしれません。

先日の県教委「学校生活アンケート」の資料でも触れていたプライベートゾーンですが、文科省では「水着で隠れる部分は自分だけの大切なところ」と示しています。「自分のプライベートゾーンは見せない、触らせない。他人のプライベートゾーンは見ない、触らない」というルールは丁寧に指導したいものです。

では、「カンチョー」「ズボンおろし」を見た際にはどのように指導をしたらよいでしょう。AさんのカラダはAさんのもので、特にプライベートゾーンは特別なので、たとえ親しい友達同士でも本人の同意なく他者の体を見たり触れたりするのはルール違反であること。ふざけて触るなどはもつてのほかであること。そうしたことを伝えただけで、「一緒に勉強していこうか」と話してみるとよいかもしれません。押さえないのは次の事柄！



- (1) プライベートゾーン以外もあなたのもので、全部大切であるということ
- (2) 見られたり触れられたりしたとしても、されたあなたは何も悪くないということ
- (3) 自分のカラダは自分のものだから、どこを見ても触ってもよいということ。その時は、誰も見ていないところで触るのがマナーであること。
- (4) 困ったときには、信頼できる大人にすぐに相談すること。

性を肯定的にとらえられるようにするために、性的な興味をタブー視してはいけません。「言っても無駄」「まだ早い」ではなく、意味のある種まきをタイムリーに行っていくことが求められます。セクハラ・わいせつ・盗撮・未成年等の性被害が数多く報じられる今だからこそ、真剣かつ丁寧に対応することが大事だと考えます。

1月行事予定 ★丸数字は学年です

- 8日(月)成人の日
- 9日(火)始業式・学校徴収金引落日
- 10日(水)給食開始・委員会・SC相談日
身体計測①～③・書き初め④⑥
- 11日(木)身体計測④～⑥むゆ
- 15日(月)書き初め③⑤
- 17日(水)定例研 13:10 下校
- 20日(土)総合防災訓練(9:00～12:00)
- 22日(月)書き初め展示～2/2
- 24日(水)クラブ・SC相談日
- 31日(水)委員会

※変更等があるかもしれません。学年だよりでご確認ください。

12月の日光修学旅行

貸し切り状態の日光を満喫しました。学校HPに写真を掲載してあります。ご覧ください。



東照宮・三猿の前でポーズ



年末の大掃除の由来は？

年末に大掃除をする人は多いものの、なぜ年末にする風習があるのか意外と知られていません。また、こうした習慣は日本独自のものだところ存じでしたか。

始まりは古く、平安時代と言われ、一年間の煤すすを払って神様を迎えるという神事、煤払いに由来しています。昔は、家の中に囲炉裏やかまどがあり、火を起すために薪や炭が使われていました。ですから天井や壁に煤がたまってしまったのです。隅々までしっかり掃除をすることが「清める」ことを意味していました。これが大掃除の由来で、やがて神社仏閣にも広がっていったといわれます。江戸時代になると、旧暦の十二月十三日が「煤払いの日」と定められ、江戸城も例外ではなかったそうです。

正月の神様である「年神様」は、毎年元日に家々にやってきて、新しい年を生き抜く力や福などをもたらしてくれれます。気持ちよく迎えるために、年末のうちに一年の汚れを清めることが欠かせません。神棚や仏壇ほか、家族が活力と元氣を得るための料理を作る台所、健康を保持する水回りの浴室やトイレなどにも気を配ったのです。つまり、きれいになった家で、自分や家族が気持ちよく正月を迎えられるように大掃除をしていたわけではないようです。

大掃除にふさわしくない日もあるのです。それは十二月二十九日と大晦日、そして一月一日です。29は、語呂合わせですが「二重苦」を連想させます。大晦日は、「一夜飾り」と言われて縁起が悪いわけです。元日に至っては、せっかく家にやってきてくれた年神様を掃き出すなど失礼に当たるとして避けられています。

ただ大事なものは、「家と心を清めて、年神様をお迎えする」という始まりを理解し、その意を汲みながら「今年もお世話になりました」という感謝をもって大掃除することではないでしょうか。子供たちにも役割を与えて、計画的に取り組んでみてください。

